

オーラルフィジシャン育成セミナー

セミナー感想

北村歯科先生はくり返されは歯科治療において、矯正医として違う角度からMTMに対して正面に疑問を投げかけてくれたと感じた。

① MTMを取り入れるなど、患者により行動変容を起こさせ、長期に亘るところのため。

② 資料の規格化や資料項目をこなすことの目的になってしまい、個人の考え方や判断力、考対力が失われるのではないか。

この疑問は、程度差こそあれ導入前後にDr.やDHが必ず感じることは多いだろう。患者側も、今まで困ったことがない（元々口腔の健康状態がよい）と検査の必要性を感じもらえない。そういう点では、北村先生自身が「歯科疾患で困ったこと」なく、コミュニケーションスキルも高いのも嬉しい。

自身は、「MTMのための検査」と「メイテナス」は「疾患のリスク評価」と「健康管理」と思っている。北村先生が疑問を感じるのは根底に「診断ツールとしてのダントン検査・OHI-S」と捉えてしまうのではないかうか。どう見ても「BWは必ず撮ります」と患者さんのデータで統一されていくのが「あれだけ」簡単な検査でもよいのでは」と疑問が湧いてしまう。

エンドでも「角治療ならCBCTをルーティンに撮るべき」か、「SXからReTxの判断に迷う時に撮るべき」という話になってしまふ。しかし「MTMのための検査」は時間軸で比較して活きてくる。

人の価値観・健康感はそれぞれで、みんながみんなMTMの流れを受けてメイテナスに迷流してしまふわけではない。しかし、リスクを評価し、伝え、健康管理につなげばツールとしてダントン検査やOHI-S、写真とデータは現時点では不足ない検査方法だと感じている。目の前

の患者さん（健軌目標）ではなく、医院全体においては医療全体で情報共有ができるためにも一定レベルの規格化や質が望ましい。北村先生には矯正の患者さんから資料振りをしてこの用紙はセミナー終了時に提出してください「歯列ごと整える」以上の価値ある医療を行なうべきだと思いました。MTMに取り組んでもらいたい 日吉歯科診療所と感じた。

オーラルフィジシャン育成セミナー

セミナー感想

今日は自分の15年間を反省し、今後の方向性をどうして
方向性を得出させられ、これが重要なセミナー
でした。10年後、20年後、オーラルフィジシャンとしての
道のりを歩み続けていくことが出来ます。
ありがとうございました。

この用紙はセミナー終了時に提出してください

日吉歯科診療所

オーラルフィジシャン育成セミナー

セミナー感想

私がこのセミナーを受けるま、かけとなつたのは、TV番組で熊谷先生の取り組みや、考え方を観て非常に感銘をうけたことです。次の日にすぐにHPから、セミナー受講の申し込みをさせてもらいました。酒田へ来て日吉歯科を見学させてもらい、熊谷先生の講義を受けたことで、より深く、先生の考え方や、やり方を理解することができました。それを院内でスタッフに伝え、~~同じ~~同じ患者でMTMを実行することは難しかったです。やはり、実際にやってみて、わかつることの方が多く、問題点もわからぬで、それどうやって解決するかというものが今後の課題であるので、スタッフとしっかり話し合い、良い方向へもっていくよ)頑張っていきたいと思います。

オーラルフィジシャンとしてやっていけるよ)皆で努力していくと思いま

この用紙はセミナー終了時に提出してください

日吉歯科診療所

オーラルフィジシャン育成セミナー

セミナー感想

今回で最終回となりましたが、ケースの提出について。
患者資料まとめや、医院の統計を取る事により、色々と学ぶ事が出来ました。
特にケース提出について、初診時から再診時までの口腔内環境の
変化が複雑化する事があり、歯科医師、衛生士からの本の成書を
確認する事が多かったと同時に、患者利益に囚う反対歯科医療を
指摘されてると再認識できました。

今後も確実に、院内へ自分も含めてスタッフも努力を
継続していく所と見受けます。

半年間、この講義の程 ありがとうございました。

2016. 11. 20 (日)

この用紙はセミナー終了時に提出してください

日吉歯科診療所

セミナー感想

オーラルフィジシャン育成セミナー

すみません！前回未提出でした！（6月）

自分は矯正医ですが、矯正医として院長と共通認識の元で連携に行きたいと考え、今回院長と一緒に参加させて頂きました。

回費アプローチ（メンテナンス）をひとつの目표ものつかの？GP、衛生士、専門医はどうする連携を取るのでしょうか？特に自分は矯正医ですが、小児歯科と矯正との関わり方に大きな関心を持ってある所を、実習担当のDENTO岡田さんや幡野先生に詳しく丁寧に様々な疑問、質問にご答えて頂き、大変勉強になりました。

今回学ばせて頂いた事を院長と良く相談し、明日からの臨床に活かして行きたいと思います。

熊谷先生はじめスタッフの皆様方、2日間本当にありがとうございました。

この用紙はセミナー終了時に提出してください

日吉歯科診療所

オーラルフィジシャン育成セミナー

セミナー感想

大学矯正科医局員時代は、矯正治療は検査・診断・治療計画の立案が治療成功の8割を占めると教わり、資料取りには自分なりに命を懸けておりました。しかし、周りの医局員はじめ、矯正医の中にはあれこれ理由(言ひ訳)を以て資料取りをあきらかにしているDr.が多數おられるのが現状です。向井の、しかもフルマウスの治療を担当する矯正ですが、規格性のある正確な資料でなくしてまとまらず検査・診断・治療計画の立案が出来ないはずもなく、これが歯科・医科問わず、医療行為における共通のことと捉えられておりました。そんなことはありえないことを云ひ残すの間に、レーテインに全caseで「長さに合わせ」(カナアロフ、現像の時代から!)を継続されてる熊谷先生には改めて頭が下がる思ひです。うれしい。私もブレなくなるでしょ。

院長の園田さんは資料取りの重視度はじめ、面接観の共有べき事であります。それをOH、スタッフともしっかりと共有し、より良い医院づくりに貢献し、それが^院地域貢献につながればと強く心に誓いました。

この用紙はセミナー終了時に提出してください

日吉歯科診療所

オーラルフィジシャン育成セミナー

セミナー感想

高齢者の介護施設に入院し、介護の介入が必要な状況と並び、自殺の内ナシを断つ事から、その課題について、重要な社会問題として取り扱われる内容が格段にあります。また、この課題は是非、そして歯科界に話題へ上昇させたいと思ふ所。長寿で健康な方々、96才の老人や病気の方々へ、高齢者の方々で特養に入院した場合、今や口腔内トラブルはメテナスを含めます。あくまで特養の在宅トクター、補綴歯を含め（入院条件でのドクターレンタルを除いて教諭の方）、食べ物、みどりなどの最後への選擇肢が選ばれています。そのためには（これが）。

当院の課題の多くトクターの間でもスタッフ全員が歯科医療の意義をもう一度学びながら、一丸となって人の命の寿命と健康を守る意識を持っています。この為に、能動的実績と熟練とスタッフ全員でとくらむ所。

そこで感じた事、感じた事。

理解する事と歯科と接する事の過程で、スタッフが自分を成長するのを感じさせては、とても良かったです。

私、自分の足りないところを医院で見つけられました。それ、これが何が、自院の成長、同じ土俵で他の川の先見の意見、レスポンス、川の熊谷組やデーターをもって気付かれてから、得意なコースでした。言葉では表現する事が難しいコースでした。大歓迎でした。モード一歩の進歩、人に対する宝です。谢谢你。

本当にありがとうございました。

この用紙はセミナー終了時に提出してください

オーラルフィジシャン育成セミナー

セミナー感想

今回、他院、先生の悩みや問題点が自院と同じ事もあり
とても勉強になりました。

個人の考え方、方法等と共に詳しく、今まで自分、歯床
でモヤモヤしていた部分が多いと、さりげなくて。

この方法、考え方をもとにためよしには各ステップアフターパー

でも先生の講演を聴いてもらわなければいけないですね
これからも頑張っていきましょう。ありがとうございました。

ありがとうございました。

この用紙はセミナー終了時に提出してください

日吉歯科診療所

オーラルフィジシャン育成セミナー

セミナー感想

今回受講したのは、医院のUTMによる回、2回目こと~~12~~12。
何か必ずには必ずPM期が確実になりました。

現在2年、先生達のアドバイスから身にしみて実感出来ました。
自分自身もこれからも、スタッフもお互い改善を院内は
自己責任があることをまずは神戸の事、2つめに行なはれること。
ありますように。

この用紙はセミナー終了時に提出してください

日吉歯科診療所

オーラルフィジシャン育成セミナー

セミナー感想

他院の取り組みの見学で、勉強になりました。
また、熊信先生、太田先生、佐藤先生からも沢山のアドバイスを
聞け、疑問の点の全ては解決してしまいました。一部、道筋を見
えた部分もあったため、非常に勉強になりました。
医療者の役割は、“疾患をなくす。”ことで、治療することは
その一部であると考えます。この目標を達成する
ことは困難でありますから、一步ずつ歩を進めて
いこうと思います。ありがとうございました。

この用紙はセミナー終了時に提出してください

日吉歯科診療所